

上田市教育委員会 7月定例会会議録

1 日 時

平成 21 年 7 月 22 日 (水)

午後 2 時 35 分から 3 時 10 分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

| | |
|----------|-------|
| 委 員 長 | 西田 不折 |
| 委員長職務代理者 | 金子 泰子 |
| 委 員 | 生田千鶴子 |
| 委 員 | 春原 秀一 |
| 教 育 長 | 小山 壽一 |

説 明 員

小市教育次長、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、原澤生涯学習課長、澤山人権同和教育政策幹、中部文化振興課長、細川体育課長、清水丸子地域教育事務所長、竹内社会教育課長、荒井真田地域教育事務所長、伊藤武石地域教育事務所長、手塚第一学校給食センター所長、浅野中央公民館長、細川塩田公民館長、林博物館長

<協議事項>

- 1 平成22年度使用中学校用教科書の採択について
資料1により中村学校教育課長説明

春原委員

1頁中程の にある「各教科責任者」とは調査研究委員会の教科責任者のことか。

中村学校教育課長

今回は社会科の歴史的分野で調査研究委員会を設けたが、その委員の先生ではなく教科用図書採択研究協議会の中に校長会から推薦された各教科責任者がおり、その先生にお願いしたということである。

西田委員長

教科書の採択については、協議会で検討するが最終的には各市町村教育委員会が決定することになっている。

金子委員

同じく1ページの のところであるが、「現在使用している教科書に不都合がない」という表現はマイナスイメージである。「前回最も適切と判断した教科書を選定していて、今回改めてそれが確認できた」とような表現でよいのではないか。

中村学校教育課長

前回科目ごとに調査研究委員会を設置し、一番適切な教科書を選定した。今回改めて学校現場にお聞きしたところ問題ないという回答をいただいたということである。「不都合がない」は適切な表現ではないので再度検討する。

金子委員

教科書は編集委員の先生方が工夫を凝らして作っており、ある意味で教材価値が高い。学校に他の出版社の教科書を置いておけば副教材として便利に使える。以前お聞きしたときは、検討したいという回答であったが現在どうなっているか。

中村学校教育課長

出版社からかなりの数の教科書がきている。各学校全ては難しいが、無償でいただいている分は活用したい。

金子委員

無償の範囲内ということか。

中村学校教育課長

そうである。

小山教育長

教科書は安いものなので買ったかどうか。「不都合がない」という表現は、金子委員のいうとおり適切でない。修正する。

西田委員長

「他社より優れている」という表現はし難いと思う。採用していない教科書を図書室や教科の部屋に置くという利用度はどのくらいあるか。

中村学校教育課長

社会科教科書の委員は7名おりその先生には無償提供されている。他の学校においては、必要に応じて学校予算の中で購入いただきたい。

西田委員長

金子委員の言われていることは、1年生から6年生まで他社の教科書を各教科全部揃えるということか。

金子委員

そうである。

小山教育長

それは大変である。例えば前回の選定結果の中で第二候補ぐらいまでとしたらどうか。高等学校は基本的に中学の教科書を全教科揃えている。

春原委員

現場では他社の教科書を見比べることはなかなかできない。予算があれば研究書、指導書等附属のものをきちんと揃えてもらった方がありがたい。

「不都合」という言葉は適切でない。いい教科書がたくさんある中でこの教科書が子どもの指導の上で適切であるということを現場へ伝えていくことが大切である。

西田委員長

公表することになっているが、公表の中でこの文言が出てくるか。

中村学校教育課長

情報公開の場合は全て出てくるのでその前に修正する。

西田委員長

「現在使用している教科書に不都合がない」という表現を修正していただくとうことでよいか。

「採択していない教科書を参考に」という件については、学校現場と検討してほしい。

全委員 了承

<報告事項>

1 行事共催等申請状況について

資料2 - 1 により中村学校教育課長説明

質疑なし

資料2 - 2 により原澤生涯学習課長説明

質疑なし

資料2 - 3 により中部文化振興課長説明

質疑なし

資料2 - 4 により細川体育課長説明

質疑なし

2 その他

<報告> 教職員の多忙化解消について中村学校教育課長説明

昨年度各学校の校長、教頭、教職員組合の代表者で懇談会を行なった。教育委員会では特別教育支援員を増員し勤務時間数も増やしている。県に対しても心の相談員を増員するよう要望を行なった。また今年1月の校長会では教師の多忙化解消に向けた取組みの説明を行い校長先生方にご理解、ご協力をお願いした。しかし教職員の多忙化解消に対する特效薬はない。教育委員会としても引き続き努力していく。先日の教頭会で夏休み中あるいは夏休み前後に各学校で次の4点について話し合いを持ってもらうよう要請した。

1 会議の精選を図ってほしい、2 学校行事の精選をしてほしい、3 組織の見直しを行なってほしい、4 多忙感の解消について検討してほしい、この4点である。話し合いの内容について8月末くらいに簡単な調査をしたいと考えている。

西田委員長

話し合いの結果は各学校毎にしてもらうということか。

中村学校教育課長

そうである。

3 その他

資料公民館だよりにより浅野中央公民館長説明

質疑なし

西田委員長

以上で7月の定例会を終了する。